



第1739回 2021年6月24日（木）《週報》

秦野名水ロータリークラブ
秦野商工会議所 12:30

1. 点 鐘 2. 合 唱 「手に手つないで」、四つのテスト 3. お客様の紹介

- ・第2780地区ガバナー クボタヒデオ 久保田英男 様
- ・第2780地区第7グループガバナー補佐 コヤマテルヒコ 小山輝彦 様
- ・米山奨学生 シルバカーランバアラッチゲドナ・シーギリ・ヒマーシさん

4. 会長の時間

○今年度は7月はそれほどでもなかったのですが、8月以降かなりコロナの感染が蔓延してきて当初奉仕事業は元より例会を何とか開けるかどうか心配の中での船出でしたが、何とか一年間乗り切ることができました。皆様にはご支援ご協力を頂き大変ありがとうございました。



今日は最終例会ということで、本来ですと親睦委員会にお世話になって納会を行っていましたが、今年は親睦委員会の皆様にはコロナ禍でその色々ご配慮を頂き最終例会について本当にありがたく思っております。

○今日は豪華ないくつかのお土産があるそうなので楽しみにしております。特に食事は、昨年の秋ごろから会食を伴う集会は自粛ということで例会での食事ありませんでしたが、約8ヶ月ぶりの顔を揃えての食事で大変おいしゅうございました。ありがとうございました。

このコロナ禍の中いろいろお考え頂きできたことと感謝しております。



○今年度は奉仕事業としましては、なかなか思うようにはいきませんでした。その中でもできることは全てやり遂げたと感じております。この後の“会長あいさつ”の時間を頂いたのでそこで気付いたこと・感じたことを御披露したいと思います。

○今日は久保田ガバナーと小山ガバナー補佐をお招きしております。最終例会にお二人にお越し頂いたという事は、最高にうれしく感謝しており、幸せに思っています。

5. 幹事報告

【ガバナー事務所より】

①クラブ活性化ワークショップ開催のご案内

【受付文書】

【例会変更】

【本日の配布物】

- ・第1739回例会次第
- ・第1738回例会週報



6. 記念日

- ・会社創業記念日
- ・入会記念日

- ・御結婚記念日
- ・御誕生記念日（会 員）
（配偶者）

7. スマイル報告



- 第 2780 地区ガバナー 久保田英男様(鎌倉 RC)「最終例会にお誘い下さり、誠にありがとうございます。この一年、難しい時を支えて頂き感謝しています。名水クラブの益々のご活躍をお祈り申し上げます。」
- 第 2780 地区第 7 グループガバナー補佐 小山輝彦様(伊勢原平成 RC)「久保田ガバナーのお伴で参りました。一年間ありがとうございました。」
- 神崎達朗さん「今日最終例会となりました。会員の皆様一年間ご支援・ご協力ありがとうございます。久保田ガバナー・小山ガバナー補佐、よくいらっしやいました。ありがとうございます。」
- 大屋富茂さん「久保田ガバナー・小山ガバナー補佐におかれましては、お忙しい中最終例会にお越し頂きありがとうございます。感謝致します。会員の皆様、一年間大変お世話になりました。」
- 鈴木和夫さん「久保田ガバナー・小山ガバナー補佐ようこそおいで下さいました。一年間お世話様でした。本年度最終例会です！神崎会長・大屋幹事一年間ご苦労様でした。」
- 古谷スミ子さん「最終例会を迎えましたね。会長・幹事・副幹事さん、お疲れ様でした。大変な一年間でしたがたくさんの学びのある一年でもあったと思います。次年度も頑張りましょう。矢端さんお元気で！そしてありがとう!!」
- 山谷洋子さん「第 2780 地区ガバナー 久保田英男様・ガバナー補佐 小山輝彦様ようこそお出で下さいました。今日はどうぞお楽しみください。矢端さん、寂しいですがまた遊びに来てください。今井さんお身体には気を付けて。」
- 桐山晃忠さん「神崎会長・大屋幹事、一年間ご苦労様でした。コロナウィルスのさなか、又種々の問題点がありましたが、すべからず対処されて誠にありがとうございました。次年度の大役も頑張ってください。」
- 北村まり子さん「スマイルします。一年間ご苦労様です。久保田ガバナー・小山ガバナー補佐有難うございました。」
- 原郁夫さん「久保田ガバナー・小山ガバナー補佐、名水の最終例会にようこそ。神崎会長・大屋幹事ご苦労様でした。」
- 原恵美子さん「久保田ガバナー・小山ガバナー補佐、ようこそ秦野名水ロータリークラブにお越し下さいました。神崎会長・大屋幹事一年間お疲れ様でございました。矢端さん短い間でしたが、楽しかったです。かまぼこありがとうございました。」
- 東島礼美さん「久保田ガバナー、先日は建長寺で行事があり美味しいお菓子が大好評でした。小山ガバナー補佐、今日はお会いできて嬉しいです。ヒマーシさんようこそ。今日は良い日です。」
- 淵脇美代子さん「神崎・大屋年度最終例会ですね。お疲れ様でした。矢端さん・今井さん皆様ありがとうございます。次年度鈴木会長・山谷幹事頑張ってください。牧島さんよろしくお願い致します。」
- 諸星道治さん「久保田ガバナー・小山ガバナー補佐、久しぶりの訪問ありがとうございます。親睦委員会から手土産楽しみにして置いて下さい。」
- 山本裕宣さん「最終例会、会長・幹事、一年間ご苦労様でした。」
- 矢端雅子さん「一年間短い間ですが、大変お世話になりありがとうございます。」
- 酒井健一さん「久保田ガバナー・小山ガバナー補佐、ご苦労様でございます。本日は最終例会です、少ない会員で本年度一年間ほぼ 200 万円頂きました。皆さん有難うございました。」

合計 55,000 円

8. 出席報告

○会員数 16名、○出席義務 16名、○出席数 15名、
○出席率 93.75%

9. 地区委員会報告 ⇒ 無し

10. 委員会及びその他の報告 ⇒ 無し

11. あいさつ

・移籍会員 矢端雅子さん



○皆様、短い一年間でしたが大変お世話になり有難うございました。昨年、コロナの中山田の後任として秦野・伊勢原局に異動で参りまして、激動の一年間でした。

4月に更なる激動がありまして、小田原と秦野・伊勢原が統合になるということで業務はそのままですが拠点を小田原に移すという事で、ロータリーも小田原に移りなさいと上司から指示がありました。本当に暖かく迎えて頂き、ロータリアンとしてはここで初めて入会させて頂きました。J:COMとしてはいろいろなどころでお世話になっておりますが、私個人としては初めてのロータリーで皆様に手取り足取り本当にご指導頂きました。一番思い出に残っているのは、親睦活動で看板や寄贈したものを見て回り、最後に戸川公園でバーベキューをしたことです。何よりも私自身秦野をよく知らなかったのも、東島さんの所の大日堂や寄贈された看板等皆様の功績を辿りながら古谷さんの案内で非常に勉強になり覚えることができました。

○業務は引き続き、秦野・伊勢原におりまして、8月に小田原駅前に秦野のメンバーと小田原のメンバーが合併して移ります。引き続きこちらのエリアでの業務はありますのでお世話になります。

小田原ロータリーに移籍はしますが、気持ちは秦野名水さんでお世話になりたいと思っており、メーキャップでお邪魔させて頂こうと思っています。

また次年度は大屋さんがガバナー補佐となられるので取材等も今まで以上に盛り上げていければと思っております。皆様大変お世話になりありがとうございました。



・新旧週報書記 ^{イマイケイコ}今井啓子さん、^{マキシマミエコ}牧嶋美枝子さん



○今年一年間とても気持ちよく書記業務ができました。今後も事務局とも情報を取りながら、次年度のロータリー奉仕デーには出席したいと思っています。

名水ロータリークラブのことは陰ながら応援しています、一年間ありがとうございました。

○ご無沙汰しております。皆さんの元気な顔を拝見し、ただ人数がちょっと少ないかなと思いました。

鈴木さんから思いがけないお話を頂きまして、退職してから仕事をしていなかったのも、ちょっと考えさせて頂きましたが、やらせて頂く事にしました。どうぞよろしくお願い致します。

・米山奨学生 シルバカーランバアラッチゲドナ・シーギリ・ヒマーシさん

○皆さんこんにちは。暑い季節が参りました。私はこの季節が大好きです。ところが私の娘は大嫌いで冬の方が良いと言っています。

スリランカは一年中暑い国なので、その暑さはどうしても嫌いで日本の冬が良いという事です。





○今日の挨拶は何を話そうかと思ったのですが、修論の話しをします。提出は来月でゼミの先生に「ヒマーシ、死ぬほど書いて」と言われました。今でも死ぬほど書いているのに、今以上に書いてという事でどうしようと考えています。でも何をしても先生の言葉が響いてきて死ぬほど書こうと思っています。頑張ります！

また来月みんなの前でお話しします。以上ありがとうございました。

・第 2780 地区第 7 グループガバナー補佐 ^{コヤマテルヒコ} 小山輝彦 様

○皆さんこんにちは。丁度二週間前に最後の挨拶に伺いましたが、また挨拶をさせて頂き恐縮です。

実は先日の会長幹事会で、今日は久しぶりに豪華なお弁当を出すという情報をキャッチし、また本日は久保田ガバナーがいらっしゃるということを伺い、馳せ参じた訳でございます。私ガバナー補佐という立場でありながら、久保田ガバナーとリアルにお会いするのは今年に入って三度目です。モニターを通しては何回もお話ししているのですが、コロナ禍の中非常に会う事が少ない訳です。



何しろ後数日で久保田 P G となってしまうので、久保田ガバナーのリアルで肉声を聞けるというのは本当に貴重な機会です。私は露払いとしてお邪魔させて頂きました。それではよろしくお願い致します。

・第 2780 地区ガバナー ^{クボタヒデオ} 久保田英男 様

○まだガバナーの久保田でございます。残り一週間でございます。今回秦野名水 R C の最終例会にお招き頂き本当にありがとうございました。お招きというかお誘い頂いたと思っております。



今回は公式訪問以来となります。コロナ禍の中でなかなか集まらない、会食を伴った集会は自粛するといったいろいろな制約のある一年間でした。

去年の今頃は既にこのような状況になっていましたが、一年間続くとはい正直思わなかったです。正直に言って私も 1 月にサンディエゴで国際教育を受けて帰って来た時にこのような状況になりました。何とか月研修会等できないかと色々なことを模索してきました、しかしそれも全て叶わず新年度に入ったらきっとできるだろうと、地区大会は通常通り行おうと一生懸命企画しましたが、残念ながらこれも初めて二日間ではなく一日、それも半日という形で開催させて頂いて、各クラブからは参加を会長・幹事・会長エレクトの三人に絞るという異例中の異例の地区大会を開催させて頂きました。

○そんな中で私が一つ良かったなと思う事は、公式訪問が出来たことです。



公式訪問で一度お会いできているので、今日もそのような繋がりでお声を掛けて頂いたのかなと思うと本当に公式訪問というのは大事だと思っております。今コロナ禍ということもあって色々な情報が早く伝わる事があったり、またちょっと違った形で伝わったりとか色々な問題が新しいメディアを使うと出てくる中で、私たちはどのようにお互い情報を共有し気持ちを繋いでいくのか凄く大事な一年間だったのかなと思っています。

そういう意味ではこの第 7 グループは小山ガバナー補佐を始め本当に I M が忘れられない I M になりました。素晴らしい I M だったと思っております。皆さんもご視聴されたと思いますが、本当にこのコロナ禍の中でできること、

先程神崎会長が「この一年間制約の中でできることは全てやった」と言われましたが、本当にそういう意味で全てやってきて下さったのかと思うと、ガバナーとしてほんとにほんとに心から感謝申し上げなければならないと思っています。

- 今この状況の中、国際大会も昨年のホノルル・今年の台北も中止になりました。本当に残念な事ですけれども、逆に人と人が会う事がこんなに大事だったのかなと感じさせられた一年間だったと思います。先程、ガバナーとしての肉声を聞くのは最後ですよと小山さんが言われましたが、多分今年のガバナーの顔の認証はマスクなのかなと思います。小山さんもマスクの下にはひげがあります。ひげを隠すような一年間を過ごしてきたわけですが、いろんなことがあった一年でありながら何もしなかった一年に見えるところがあります。その中で私たちロータリアンが辛い思いをしてきただけではなくて、学生みなさんも対面授業をしたいのにずっとオンライン授業で辛い一年だったと思います。このことは米山奨学生の皆さんも、ロータリー財団の皆さんも言われていました。やはり大学の中で仲間ができない、それが大学生活を半減させてしまっているのかと思っています。そういう人たちがそれでも一生懸命未来に向けて頑張っているわけで、そういう人たちを私たちロータリアンが支えているんだと特にシニアリーダーとして皆さんに伝えなければならないと思っています。

- 今年はオリンピックが一年遅れで行われることになっており、この2020～2021年度は東京でオリンピックが開催され、東京ロータリークラブが2020年10月に百周年を迎えるという記念すべき年だったのですが、記念祝賀行事が全部流れてしまいました。先日5月25日にオンラインという形で百周年の祝賀ビデオが流れました。その中の



フォーラムの中で国際ロータリーの現状ということで随分固い話しがたくさん出てきました。今私たちが掴んでいる情報の中で、例えば地区が変わります、ガバナーがお亡くなりになったとかいろんなお話がありました。ただここだけは抑えておいて頂きたいのは現状としてそういうプランが出ているということだけを挙げているだけで、中身については詳細は分かりません。十分咀嚼する前に情報を流さないということが私たちサンディエゴで一番よく教えられたことで、きちんと自分たちが理解してから伝えるように言われています。簡単に触れさせて頂くとロータリーの中も徐々にオンラインを使うことで世界が狭くなって来ている。その中でこれから先どういう風に対応していくかという事を考えなければならないと言われています。

よくいろいろな経済セミナー等で言われている倒産したフィルムのKodak社の話です。これはなぜ倒産したかというデジタルカメラが出てきたからです。ではKodak社がデジタルに変わるという時に何もしてこなかったのかというと決してそうではなくて、そのスピードについていけなかっただけなのだ。

という話しがよく出てきます。ロータリーも同じだと私は思っています。これは実はホルガー・クナーク会長も同じことを言われています。Kodak社が潰れたということは漫然とフィルムを作っていただけではなくて、きちんとデジタルの世界に足を踏み入れてそこを開発していこうとしましたが、世の中のスピードが思いの外早かった。そういう意味でロータリーも決してスピードに遅れてはいけない、だからと言ってどのくじを引くかといったギャンブルではない。だから私たちはいろいろな可能性・方向性を常に頭に入れて検討し、そして見ていかなければなりません。世界は今そのような状況になっている中で出てきた話の一つだと思って頂ければと思います。

- 今国際ロータリーはD・E・Iということを非常に言っています。つまり私たちロータリアンとしてやっていける・やってきたとをこれから新しく若い人たちがこの新しいテクノロジーや新しい哲学の中でどういう活躍をしてくる

かどう社会を作っていくか、そして従来のこの社会を組み立ててきた私たちロータリアンが上手に融合していく、そして新しい物を一緒に作っていく、そして色々な人を巻き込んでいく、ロータリアンにならなくても、ローターアクトにならなくてもローターリーの活動に賛同してくれて参加してもらい、理解してもらい、そういう事がこれから凄く重要になってくるという事を国際ローターリーは目指している。そういう意味でローターアクト、そして若い米山奨学生、ローターリー財団の奨学生、青少年交換留学生の人たちと一緒に、また彼らもロータリアンにお世話になっており自発的に自立して自分たちも活動するというような組織を目指しているんだと徐々に見えてきます。そんな中、自由に色々な発想の中でやってみたいこと、こんな風に組織を替えたらいかがだろうかといった意見を交わすことは本当に良い事だと思っています。“四つのテスト”に表れている内容のようにローターリークラブは素晴らしい組織であり、国際社会にもこの地域にも改めて重要な組織なんだと再認識した一年でした。

- 今年のローターリーのテーマは“ローターリーは機会の扉を開く”ということで私はこの“機会”という言葉が大好きで、私たちがどういうチャンスを受け、どういうチャンスを作り、それにチャレンジしていく人たちが一人でも多くいてくれることが有難いかなと思っています。

今日のような機会を頂いたことにも感謝しておりますし、次年度は大屋さんがガバナー補佐になられるので恐らく第7グループのリーダー的役割が名水さんになると思います。その時に今まで皆さんがやられてきたこと、これから新しくチャレンジすることを是非第7グループだけでなく、2780地区に見せて頂ければと思います。

ほんとに大変なこの時期に神崎会長は名水ローターリークラブを大事に大事にされて次の鈴木会長にバトンを渡すことになります。是非2780地区のリーダークラブとしてこれからも名水ローターリークラブがもっともっと活躍されますようお祈りしておりますし、また何処かで私も一緒に参加できればうれしいなと思っています。今日本当に最終例会にお招き頂くことは稀でしてそういう意味ではとても嬉しく、また名水のメンバーに私も入れて頂けたんだと感謝しております。これからも是非一緒に何かやれればと思っています。

本当に今日はありがとうございました。



12. 記念品贈呈（理事会より）会長エレクト鈴木和夫さん



- 今年度理事会9名より感謝の意を込めて贈呈したいと思います。

神崎会長・大屋幹事、コロナ禍の大変な時期に色々な工夫をされて名水ローターリークラブを引っ張って頂きました。本当に会員メンバーを代表して感謝と御礼を申し上げます。



13. 会長あいさつ



○先週と先々週に分けて、各委員会の委員長の方に一年間の活動の発表がありました。コロナ禍の中精一杯活動して頂けたと思っています。

本来ですと、各委員長の発表の後、会長幹事の話しと先週で終わっているはずですが、どういうわけか私の話しが今日になってしまいました。

○今年度は7月初めから例会さえ通常に開けるかどうかというような心配がありました。それでもどうにかいろいろクリアしてきました。いくつか奉仕活動もできました。

まず第一は秦野の名所を回るということで、ここでの名所とは名水ロータリークラブにとっての名所でありまして、とても意味のある名所です。この33年間で市内に寄贈したもの寄付したものを回りました。これは私にとってはタイムリーであり、会長方針にも書きましたが「こんな時こそ原点に返ってロータリーとは何なのか、ロータリークラブのメンバーでいることとは何なのか。30年を経た名水ロータリーについて皆さんと考えてみようと思います」と記載しました。特に“原点に返って”としましたが、前年度29名の会員数を13名減らして16名となりました。少ない人数になり、良くしまっていていいクラブになったという言葉もありますが、やはり会員数を増やすというのは非常に悔しい思いであります。もう一度クラブの原点を探ろうという事で秦野の名水ロータリークラブにとっての名所を見て回りました。

その中でいくつか気付いたことがあります。屋内についてはテレビなどがあり、これは主に施設の関係者が活用され、これはこれで意義のあることだと思っています。その他屋外に設置したものは一般の多くの人たちの目に触れるものであり、広告塔が3つ、そして時計が1つ、その他湧き水の横に貯金箱が2つ等があります。特に246号の広告塔の下草刈り等屋外に寄贈したものに関してはそれなりにケアが必要と感じました。

そして親子川柳の表彰・ポケトークの贈呈・秦野っ子アワードへの協賛・少年野球への協賛金の贈呈・こども園へ絵本の贈呈とあります。財団の寄付・米山奨学への寄付も全て100%こなし先程も言いましたがやれることは全てやり切ったと思っています。

本当に一年間皆様のご協力により何とか過ごすことができました。最後に私を助けて下さった大屋幹事、本当に感謝しております。

今後ロータリーにとって良くも悪くもテクノロジーの波が押し寄せるということで、これを抵抗していくというのもいいだろうし、押し返すのもいいだろうし、受け入れていくのもいいだろうし、皆さんそれぞれだと思いますが、間違いなく波はやってきます。歳を重ね頭が固くなってきますが、これからはそういう事も体験していかなければならない、既にZoomの例会等をやっています。新しい大きな波が押し寄せているような昨今のロータリーです。

今後もお体に留意して頑張ってください！一年間ありがとうございました。

14. 点 鐘

